

## 第2章 まちづくりへの 想いをつなげ

故郷の十和田市を少しでも活性化したいという想いで、江渡信貴さん、畑中宏之さん、金沢守昭さんの3人は、自営業で生計を立てながら十和田商工会議所青年部の一員として、まちづくりに参加してきました。

平成20年7月から電源地域振興センターの調査事業「地域資源（バラ焼き）を活用したブランド化」の採択を受け、8回にわたり会議や勉強会を開催してきました。

「バラ焼きで十和田の活性化を！」を合言葉に、平成20年12月14日に十和田バラ焼き博覧会を十和田商工会議所青年部が主催し、2千食のバラ焼きを無料で振る舞いました。この斬新な発想による活動は、多くの新聞やテレビで取り上げられ、県内外に十和田が「バラ焼きのまち」であるという印象を付けることとなりました。実際に十和田バラ焼き博覧会を企画・運営した江渡さん、畑中さん、金沢さんにまちづくりへの想いについて話を伺いました。

■3人はこれまで、十和田商工会議所青年部で、まちづくりに参加してきましたが、それはどういった想いがあったからなのでしょう？

江渡 わたしは畑中さんと同級生で高校時代から、未来の十和田像やまちづくりのあり方について語り合ってきました。いま実際にまちづくりに参加するようになり感じていることは、市民、行政、関係団体のまちづくりに対する方向性がバラバラであることです。意思統一の意味で、連絡調整を図ることが重要であると実感しています。

畑中 わたしは個人単位でまちづくりに参加することをテーマに活動しており、これまでにチャリティーコンサートを企画して、その収益金を市役所に寄付しました。

また、十和田商工会議所や十和田商工会議所青年部の一員として、市民に愛されるイベントの創出や企業収益に関わる活動を続けることで、十和田に観光客が来て、中心市街地などが少しでも活性化できればと思います。

金沢 十和田商工会議所には多くの優れた先輩が活動されています。私も一市民として、十和田市の活性化

化を目指し、まちづくりに参加したいと考えたのがきっかけです。

■平成20年12月14日に十和田バラ焼き博覧会を企画・運営してみたいことはありますか？

江渡 十和田バラ焼き博覧会を企画・運営して感じたことは、バラ焼きが十和田のかたがたに愛されているということです。市民のかたがたのバラ焼きを食べているときの笑顔や喜びの声を聞くことで、十和田のバラ焼きが市民、行政、関係団体のまちづくりに対する方向性を同じにするいい契機と感じました。バラ焼きで、十和田の活性化につなげていきたいと思っています。

畑中 わたしたちはバラ焼きを十和田のご当地グルメにするために、関係団体と話してきました。「十和田バラ焼き博覧会」の開催が、多くのメディアに大きく取り上げられることで、十和田バラ焼きをご当地グルメとして売り出し、成功する可能性を実感しました。

また、2月14日・15日に黒石市で開催の「県内B級グルメ大集合」というイベントに参加して、十和田のバラ焼きを販売しました。午前11時から午後3時までの時間で、1日100食を提供する予定でしたが、あまりの盛況ぶりに、1時間あまりで完売してしまいました。2日目も

1時間あまりで完売しました。わたしは、大きな手ごたえを感じ、十和田のバラ焼きの実力を感じました。金沢 十和田のバラ焼きに対する地元紙や全国紙、NHKや民放などのテレビなど多くのメディアで取り上げられ、今でもテレビ取材の申し込みが来ている。また、それだけ十和田のバラ焼きには、まちおこしの可能性が秘められていると実感しています。

■何か市民に対してのメッセージはありますか？

江渡 市民一人ひとりがまちづくりに参加し、十和田の現状についての認識を深めてほしいと思います。

また、バラ焼きに少しでも関心を持ち、家庭や飲食店で楽しんでほしいと思います。

畑中 市民の皆さんの理解や協力があってはじめて、バラ焼きがご当地グルメとして成長し、まちづくりの重要な要素となります。

十和田には優れた農畜産物があるのでバラ焼きに取り入れて活動していきたいと思っています。

金沢 市民が一丸となって同じ方向性を持って進まなければ、大きな効果が得られないと思います。十和田のバラ焼きをご当地グルメとして定着させていきたいので、市民の皆さんのご理解をお願いします。



十和田バラ焼き博覧会

平成20年12月14日に開催された十和田バラ焼き博覧会では、バラ焼きを提供している市内にある40の飲食店に声をかけたところ、17店舗の自主的な参加があり、市民に無料で2千食振る舞われました。

17店舗で提供されたバラ焼きの素材は十和田商工会議所、同会議所青年部の全面的な協力・支援により開催されました。



2,000食のバラ焼きが振る舞われた十和田バラ焼き博覧会

県内B級グルメ大集合

2月14日・15日に「全日本まちおこしバトルin黒石」の併催イベントとして、「県内B級グルメ大集合」が開催され、十和田のバラ焼きがはじめて市外のかたがたに販売されました。その販売の中心的な役割を果たしたのが江渡さんたち3人です。

初日は午前11時から午後3時までの販売時間の間に100食を提供する予定でしたが、1時間あまりで完売となりました。また、2日目も1時間あまりで完売するほどの盛況ぶりでした。



十和田のバラ焼きには長蛇の列ができました

十和田のバラ焼きで心を一つに!

十和田商工会議所青年部 観光推進委員会委員長 江渡 信貴さん  
専務理事 畑中 宏之さん  
十和田商工会議所青年部 観光推進委員会副会長 金沢 守昭さん